

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成29年 月 日

計画の名称		印西市における下水道整備計画																			
計画の期間		平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）				交付対象		印西市													
計画の目標																					
下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																					
計画の成果目標（定量的指標）																					
①印旛沼の水質浄化のため未普及の岩戸地区を整備し、印旛沼流域関連公共下水道整備率を76.5%（H23）から77.1%（H27）に増加させる。 ②下水道長寿命化計画策定率を0%（H23）から100%（H27）に増加させる。 ③下水道総合地震対策事業計画を策定し、主要な幹線の耐震化率を0%（H26）から20%（H27）に増加させる。																					
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考										
								当初現況値 （H23当初）			中間目標値 （H25末）		最終目標値 （H27末）								
①下水道整備面積 下水道整備完了済み面積（ha）／下水道整備を実施すべき面積（ha）								76.5%			76.8%		77.1%								
②管渠における下水道長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの管渠（箇所）／長寿命化計画を策定すべき管渠（箇所）								0%			0%		100%								
③重要な幹線における耐震化率 耐震化完了済み延長（km）／重要な幹線等の延長（km）								0%			0%		20%								
												上段：計画 下段：実施									
全体事業費		合計 （A＋B＋C）		222.2 155.4		A		187.7 140.6		B		0.0 0.0		C		34.5 14.8		効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）		15.5% 9.5%	
事後評価																					
○事後評価の実施体制、実施時期																					
事後評価の実施体制										事後評価の実施時期											
										平成29年2月											
印西市都市建設部下水道課内社会資本計画事業評価会議において事後評価を実施										公表の方法											
										印西市ホームページにて公表											
1. 交付対象事業の進捗状況																					
交付対象事業																					
A1 下水道事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考				
											H23	H24	H25	H26	H27						
下水道事業																					
A-1-1	下水道	一般	印西市	直接	—	汚水	新設	岩戸地区枝線整備事業	φ200mm L=1.8km 排水ポンプ1基	印西市						121.7					
									φ200mm L=1.3km 排水ポンプ2基							82.46					
A-1-2	下水道	一般	印西市	直接	—	汚水・雨水	新設	長寿命化計画策定	調査・計画策定	印西市						30.0	長寿命化支援制度				
									調査・計画策定							42.6					
A-1-3	下水道	一般	印西市	直接	—	汚水	新設	下水道総合地震対策事業	調査・計画策定・耐震化	印西市						36.0	総合地震対策事業				
									調査・計画策定							15.5					
																合計	187.7				
																	140.6				
B 関連社会資本整備事業																					
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考					
										H23	H24	H25	H26	H27							
なし																					
																合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考				

C 効果促進事業											全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）						
										H23			H24	H25	H26	H27
下水道事業																
C-1-1	下水道	一般	印西市	直接	－	新設	岩戸地区枝線整備事業	φ 200mm L = 0. 4km	印西市						34. 5	
								φ 200mm L = 0. 4km							14. 8	
														合計	34. 5	
															14. 8	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
C-1-1	基幹事業である枝線と接続する枝線整備を一体的に行うことにより、未普及地区の早期解消を図る。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		①印旛沼の水質浄化のため未普及の岩戸地区を整備し、印旛沼流域関連公共下水道整備率を76.5%（H23）から77.1%（H27）に増加させる。 ②下水道長寿命化計画策定率を0%（H23）から100%（H27）に増加させる。 ③下水道総合地震対策事業計画を策定し、主要な幹線の耐震化率を0%（H26）から20%（H27）に増加させる。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 整備面積の増	最終目標値	77.10%	目標値と実績値 に差が出た原因	千葉ニュータウン地区において、UR都市機構による新住宅市街地開発事業が並行して実施されたため整備率が増となった。
		最終実績値	96.90%		
	指標②（下水道 長寿命化計画策 定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た原因	
		最終実績値	100%		
	指標③（重要な 幹線における耐 震化率）	最終目標値	20%	目標値と実績値 に差が出た原因	総合地震対策計画の策定により、市内の重要な幹線管渠の内24%完了済みであることについて確認した為、計画に基づき現地調査、耐震診断、耐震化工事について継続して実施する。
		最終実績値	24%		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
・岩戸地区枝線整備事業について、引き続き枝線管渠の整備を市事業において実施する。 ・策定した長寿命化計画に基づき、小林・本埜第一中継ポンプ場の設備更新及び、高花・内野地先の管渠更生等を、社会資本総合整備計画において実施する。（H28～H32） ・策定した総合地震対策計画に基づき、木下東、中央南、平賀地区等の重要幹線管渠の耐震診断を実施し、診断結果により同地区の管渠抜けだし防止工事等についても引き続き、社会資本総合整備計画において実施する。（H28～H32）					

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

